

1 実証実験の目的

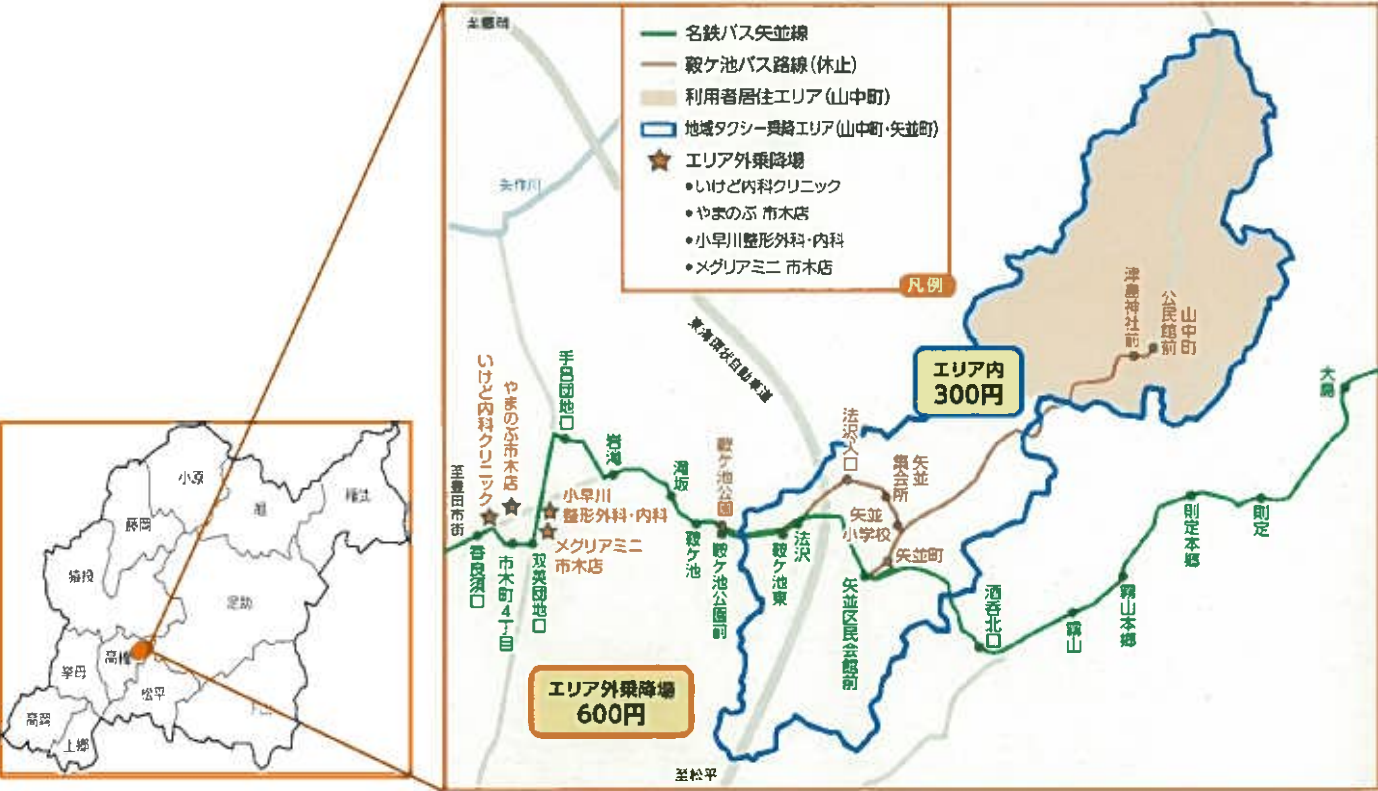
鞍ヶ池バスに代わる新たな移動手段として、タクシー活用に着目し実証実験を行う。実験を通じて、地域と連携し地域タクシーへの代替可能性を検討するとともに、実運行に向けた課題を抽出する。

2 実証期間 平成30年3月27日（火）～平成31年3月31日（日）

3 実証概要

利用者	山中町の住民（事前登録制）
運行形態	電話呼び出しによるタクシー乗車（一般乗用）
運行地域	エリア内：山中町、矢並町 エリア外（指定4か所）：いけど内科クリニック、スーパーやまのぶ市木店、小早川整形外科・内科、メグリアミニ市木店
運行日時	毎週火・金曜日 8～18時（乗車開始時刻）
運賃	エリア内：一乗車300円 エリア内⇄エリア外：一乗車600円
運行事業者	名鉄東部交通（株）、豊栄タクシーグループ（豊栄交通（株）、豊田中央タクシー（株）、松平交通（有））
市負担	利用実績に応じた差額負担

4 運行エリア



5 利用実績

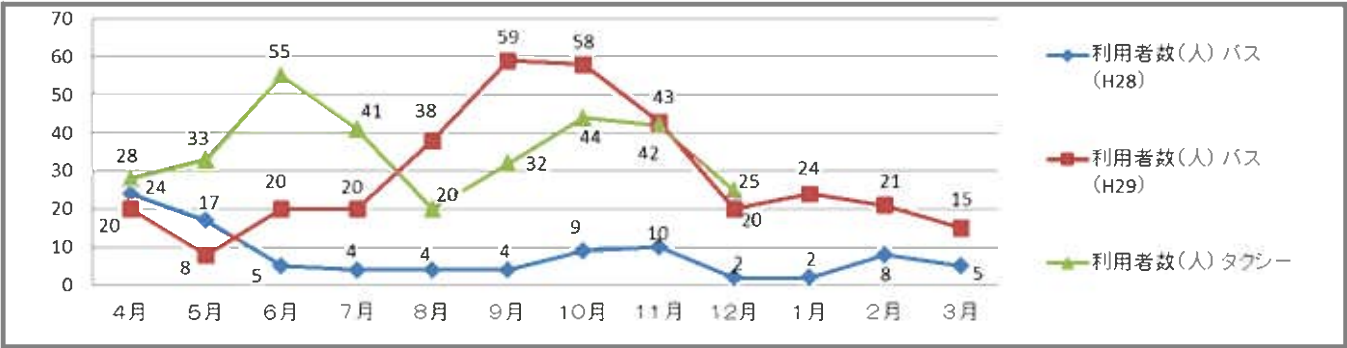
【エリア内外別実績】

	利用回数		利用者数		市負担額	
	エリア内	エリア外	エリア内	エリア外	エリア内	エリア外
4月	7回	1回	25人	3人	22,050円	2,850円
5月	9回	1回	32人	1人	28,350円	2,850円
6月	15回	2回	53人	2人	47,250円	5,700円
7月	6回	12回	23人	18人	18,900円	34,200円
8月	0回	11回	0人	20人	0円	31,350円
9月	8回	3回	29人	3人	25,200円	8,550円
10月	9回	6回	35人	9人	28,350円	17,100円
11月	10回	4回	36人	6人	31,500円	11,400円
12月	5回	3回	19人	6人	15,750円	8,550円

【鞍ヶ池バスとの比較(4～12月分)】

	利用者数	市負担額	一人当たり市負担額	収支率
バス	286人	2,545,019円	8,899円/人	1.2%
タクシー (前年比)	320人 (12%増)	339,900円 (86.6%減)	1,062円/人 (88.1%減)	12.0% (10倍)

【月別利用者数の推移】



6 アンケート及びヒアリング結果

Q 鞍ヶ池地域タクシーはかつての鞍ヶ池バスと比べ便利になったと思うか。

	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない
回答数 (60人)	10人(17%)	30人(50%)	18人(30%)	2人(3%)	0人(0%)

※山中町在住の中学生以上 143 人を対象としたアンケート

⇒2 / 3 以上の方が便利になったと回答しており、サービスの低下を感じる人はほとんどいない

- 【肯定意見】 … 「自宅から目的地まで直接行ける」
「自分が希望する時間に利用できる」
「バス停以外での停車やルートを変更できるためバスより自由度が高い」
「現在は車が運転できるが、今後利用するかもしれない」
「エリア外乗降所からさらに遠方へメーター料金に切り替えて利用できる（最初から通常のタクシーを利用した時より安価で目的地まで行ける）」 など
- 【要望等】 … 「バスより値上がりしている」
「運行日数が限られている」
「曜日を増やすよりも（この事業自体を）長く続けてほしい」
「それ相応の料金設定で構わないが、さらに遠方の指定目的地も作ってほしい」
「2週間前からではなく、さらに長期の予約をできるとよい」 など

○要望等に対する運行形態変更の判断

- ・運賃について
ドアツードア運行によるサービスレベルの向上、持続可能性を考慮した運行の観点から現在のエリア内 300 円、エリア外 600 円からの値下げは行わない。
- ・運行曜日について
地域バスの代替という観点から週 2 日からの増加は行わない。
- ・遠方の指定目的地追加について
地域バスの代替、他地域とのサービスレベルの整合性の観点から指定目的地の追加は行わない。
- ・予約可能日の延長について
予約を管理するタクシー事業者と協議の上、予約期間延長の検討を行う。

7 評価

評価項目	評価	備考
乗用タクシーの活用可能性	○	予約が取れない等の事例もなく、乗用タクシーの通常運行体制で活用できている。
バスと比較した経費の削減	○	◇市負担額 前年比 86.6% 減 ◇利用者 1 人あたりの市負担額 前年比 88.1% 減 平成 29 年度地域バス全体平均 1,064 円/人
利用者数	○	前年 4 ～ 12 月比 12% 増
乗り合わせの際の支払い	○	乗り合わせる利用者同士で調整し、スムーズに支払いができています。
アンケート及びヒアリング	○	多くの方が地域タクシーについて肯定的な意見を抱いている。
地域協議会	○	本実証実験を開始するに伴い、新たに山中町生活交通協議会を設置し、地域タクシーの運用に対する協議をする場を設けた。

○他地域への展開

鞍ヶ池での実績や利用者等からの意見をもとに、現在他の 3 地域でのタクシー活用について検討を行っており、横展開に向けた一定の基準を設定できたといえる。

○評価のまとめ

経費、利用者数、利用者意見を総合して判断するとバスからの代替は成功であったと評価できることから、現在の運行形態を維持したまま本運行化とする（平成 31 年 4 月 1 日～）。